

平成29年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属： スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格： 教授

氏名： 小松 泰喜

研究課題		下腿のスポーツ障害の発生メカニズムと予防戦略-アキレス腱のねじれ構造と下腿骨の骨マトリックス構造による障害との関係-
報告の概要	研究目的及び研究概要	多くの陸上選手は下腿内側の疼痛が脛骨に沿って出現することが多い。特に、脛骨の下3分の1のところによくみられるとされる。この部位は、筋肉の付着部でもある部分で、この部分で炎症を起こす場合があり、これを「シンスプリント」という。場所がほぼ同じで、ある一点に集中するような疼痛がある場合、その部分での疲労骨折を疑うこととなる。ただし初発症状がわかりにくく、骨構造からその機序について明らかとなっていない。本研究では本学陸上部に対し、下腿骨の骨構造を探索的に評価するために尿より骨マトリックスマーカーを測定することでアキレス腱の障害やシンスプリントなどの予防戦略につながる可能性がある。対象は陸上部の部員でシンスプリントによる疼痛を持つもの(あるいは過去にあったもの)とし、骨構造には尿中ペントシジンからELIZA法にて測定する。下腿ならびに足部の問題は長引くことがあり、本研究によるスクリーニング法ができることに期待をしている。
	研究成果	
研究業績	<ul style="list-style-type: none"> <li>論文および著書</li> </ul> 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	<b>【論文および著書】</b> ・「アキレス腱のねじれ構造とスポーツ障害発生との因果関係—return to playに向けた新たな予防概念—」臨床スポーツ医学 2017年5月号 (34巻5号)p516-517 (査読なし) ・『骨格筋ハンドブック(原書第3版)』南江堂(3月刊行予定)野村巖(監訳)、クリス・ジャーメイ(著)共訳者
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学会発表等</li> </ul> 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	なし
	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他</li> </ul> *学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等	<b>【講演会、研究会、研修会、セミナー等】</b> ・第11回『脳神経科学東京セミナー』 神経科学とリハビリテーションの可能性について 会場：日本大学三軒茶屋キャンパス 主催：運動神経科学研究会 平成29年4月 ・第12回『脳神経科学名古屋セミナー』 神経科学とリハビリテーションの可能性について 会場：ウインクあいち1202会議室 主催：運動神経科学研究会 平成29年9月